

沖縄での米軍属による女性遺体遺棄事件に抗議するとともに 日米地位協定の見直しを求める要望意見書

沖縄での元米兵による女性遺体遺棄事件で、国民、県民に大きな衝撃と不安を与え、深い悲しみと激しい怒りの声が広がっており、米軍属による女性遺体遺棄事件に強く抗議するものです。

1995年の少女暴行事件により、米軍内の綱紀粛正の強化や再発防止に向けた対策が強く求められてきましたが、米軍属による犯罪や事件が続いています。

今回の遺体遺棄事件は犯人逮捕に至ったものの、関係する証拠等が明らかにされず、事件解明の弊害になっていることが報道され、日米地位協定の改定を求める世論が高まっているのが現状です。

よって、女性遺体遺棄事件に抗議するとともに、国においては、米軍属が起こす事件等においても対等に扱われるよう、米国に対し日米地位協定の見直しを求めることを強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

苦 小 牧 市 議 会

【提出先】 内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣